

研究報告

## 九州歯科大学歯学部学生の学習環境満足度調査結果について

高田 豊<sup>1,7)</sup> 豊野 孝<sup>2,7)</sup> 荒井 秋晴<sup>3,7)</sup>  
 稲永 清敏<sup>4,7)</sup> 後藤 哲哉<sup>5,7)</sup> 西原 達次<sup>6,7)</sup>

**抄録** これまで本邦の歯学部学生を対象とした学習環境満足度調査研究はほとんどされていない。しかし、教育の学生満足度を改善するためには学習環境満足度を把握することが不可欠である。

そこで、本研究では九州歯科大学歯学部学生 2, 3, 4, 5, 6 年生の全員 (489 名) を対象に学習環境満足度アンケート調査を行った。412 名 (2 年生 87 名, 3 年生 78 名, 4 年生 79 名, 5 年生 81 名, 6 年生 87 名) からアンケートを回収した (回収率 84.3%)。その内 398 名から回答を得た。

学習環境満足度 (21.0%) は教育満足度 (42.9%) よりも低かった。個々の学習環境満足度も低く大部分の項目で不満足者が満足者よりも多かった。不満足度は学年では 6 年生が 2, 3, 4, 5 年生よりも高く、女性が男性よりも高かった。単回帰分析 ( $r, 0.44 \sim 0.63; p=0.000$ ), 重回帰分析 ( $\beta, 0.43 \sim 0.60; p=0.000$ ) とともに、学習環境全体の満足度は個々の学習環境満足度と有意な正の関係にあった。また、学習環境全体の満足度と教育全体の満足度も有意な正の関係にあった。

以上から、本学の歯学部学生の学習環境満足度は低く、教育満足度よりも低値であった。学習環境全体の不満足度が学習環境個々の不満足度や教育全体の不満足度と正の関係が強いことから、本アンケート調査設問項目の個々の学習環境を改善していくことで学習環境全体の学生満足度が上昇し、さらに教育への学生満足度も改善することができると考えられた。

**キーワード** 学習環境, 満足度, 学生, 教育, 歯学

### 緒 言

九州歯科大学では歯学教育改善のために近年新しい教育方法の導入を行うとともにその教育効果の検証を行ってきた。平成 14 年度に実施した客観的臨床能力試験 (OSCE) 第 1 回トライアルでの受験生アンケート調査<sup>1)</sup>と模擬患者<sup>2)</sup>による評価の分析、平成 14 年度と平成 15 年度の OSCE トライアルの評価<sup>3)</sup>、OSCE 評価者間の評価のばらつきと一致についての検討<sup>4)</sup>、OSCE 標準模擬患者の客観的評価に関する研究<sup>5)</sup>、OSCE 直後と 6 カ月経過後の受験生アンケート調査の変化<sup>6)</sup>など OSCE に関する評価方法などの検証を行い OSCE 改善に貢献した。

OSCE 以外では、本学歯周病学教育におけるスモールグループディスカッション授業 (SGD) の導入と検証<sup>7)</sup>、平成 9 年から 15 年までの歯学部学生の基礎講座配属教育の導入と検証<sup>8)</sup>、医療コミュニケーション教育導入とコミュニケーションのための患者における歯科用語理解度調査<sup>9)</sup>などが行われてきた。しかし、本学では学生の教育満足度調査を大学全体で行ったことはなかった。特に学習環境に関する学生満足度調査はこれまでに行ったことがない。また、本学だけではなく他大学でも学習環境学生満足度調査の報告はほとんどされていない。そこで、今回の研究で、学習環境における学生のニーズを大学として把握するため、歯学部学生を対象とした学習環境満足度アンケート調査を行った。

### 対象および方法

本学歯学部 2 年生 (97 名), 3 年生 (95 名), 4 年生 (91 名), 5 年生 (96 名), 6 年生 (110 名) の全員を対象にして、平成 19 年 4 月 2 日と 3 日の学年ガイダンス時に大学学習環境満足度に関するアンケート調査 (マークシート調査) を行った。アンケートを回収できた学生は 2 年

<sup>1)</sup>九州歯科大学総合内科学分野

<sup>2)</sup>九州歯科大学口腔組織機能解析学分野

<sup>3)</sup>九州歯科大学総合教育学分野

<sup>4)</sup>九州歯科大学生理学分野

<sup>5)</sup>九州歯科大学頭頸部構造解析学分野

<sup>6)</sup>九州歯科大学感染分子生物学分野

<sup>7)</sup>九州歯科大学自己評価部会

平成 19 年 10 月 12 日受付

平成 20 年 1 月 30 日受理